



### さんどこどっこい！ 北小児童が和太鼓学ぶ

ふるさと塾「和太鼓教室」が、9月26日(木)に北小で行われ、5年生児童が雪国鷹巣太鼓保存会のメンバーから和太鼓を学びました。これは、山形ふるさと塾推進協議会が地域文化の伝承を目的に実施している「ふるさと塾」を活用したもので、雪国鷹巣太鼓保存会の協力で行われているものです。

この日は、保存会のメンバーの指導を受けて、ばちの持ち方や立ち方、太鼓のたたき方などを学びました。参加した北小の青木七斗さんは、「今日初めて実際の太鼓で練習しました。立ち方やたたき方など難しかったです」と話していました。



### 気軽に本に親しんで 「えきとしょ」除幕式を実施

大 石田町と山形市の相互協力による「えきとしょ」の除幕式が9月11日(水)に行われました。除幕式には、庄司町長のほかにも阿部山形市立図書館長や柏倉町立図書館長なども参加しました。

この取り組みは、駅の利用者に本に親んでもらうため、JR大石田駅に併設する大石田駅都市施設内に本棚を設置し、除籍となった図書を設置することで、手続き不要で誰もが自由に本を借りることができるものです。借りた本については、2週間を目安に戻してほしいとのことです。



また、山形市との協力により、山形駅東西自由通路の「本のひろば」と、「えきとしょ」が連携し、大石田町で借りた本を山形市に返すなど相互での本の貸し借りができるようになります。

庄司町長は「地元の高校生などの駅を利用している多くの方にえきとしょを利用していただき、本に親しんでいただきたい」と話していました。

### 素早く！正確な動き競う！ 消防操法大会

大 石田町消防操法大会が、9月8日(日)に尾花沢市消防署大石田分署で開催されました。この大会は、ポンプの始動やホースといった機械器具の操作や放水作業の素早さと正確さの技術を競うもので毎年開催されています。

出場者は、これまで練習してきた成果を出し切ろうと力の籠った操法を繰り広げ、競い合っていました。



<b>優秀賞</b> 須藤 亮 ※個人賞は特に優れた隊員に贈られる賞		<b>第2位</b> 第3分団第1部第1班 指揮者 遠藤 亮 1番員 佐々木 英 2番員 田口 龍輝 3番員 工藤 剛 4番員 鈴木 剛 補助員 工藤 竜児	<b>第1位</b> ポンプ車の部 第2分団第2部第1班 指揮者 戸田 武男 1番員 早坂 瑛 2番員 村岡 潤 3番員 須藤 亮 4番員 佐藤 涼 補助員 栗田 尋木
<b>第3位</b> 第1分団第3部第2班 指揮者 六沢 昌樹 1番員 寺崎 太 2番員 関 達也 3番員 高橋 敏幸	<b>第2位</b> 第1分団第2部第2班 指揮者 飯藤 孝裕 1番員 荒木 義樹 2番員 有川 隼人 3番員 有川 成生 補助員 竹谷 成生	<b>第1位</b> 小型ポンプの部 第4分団第2部第3班 指揮者 遠藤 友昭 1番員 海藤 志 2番員 青木 博 3番員 須藤 善光 補助員 青木 玲央	

### 新たな視点から 映画の楽しみ方講座を実施

町 民大学地域学講座である「映画の楽しみ方 教室 ～芸術作品に対する新しい視点～」と題して、映画鑑賞後、文筆家である折田侑駿(東京都)さんが「決まりきった映画の見方」だけでなく、多様な視点や着眼点などについて鑑賞の仕方を解説しました。

その後、折田さんと町地域おこし協力隊である大橋武司さんによる対談が行われ、大橋さんの地域おこし活動に対する想いを引き出していました。

解説のなかでは、作品と自分自身の関係性をさぐりながら見ることや見る場所や見る環境によってその時々体験を大事にすることについて話しました。



### 実りの秋迎える 児童が稲刈り作業を体験

大 石田南小学校の5年生児童が9月30日(月)に昔ながらの稲刈り作業を体験しました。これは、大石田町農地・水・環境保全組織が伝統農法の実践や学校教育との連携のため実施しているものです。

児童たちは、慣れない鎌を手に、黄金色に実った稲を丁寧に刈り取り、その後、稲架掛けを行いました。

参加した南小の森蓮さんは「狭い範囲でもとても時間がかかって、昔の人はとても大変だったのだと思いました。」と話していました。

